

## 身近な動物が思わぬ火災事故を引き起こします

～ペットだけでなく、ネズミやゴキブリなどにも気を付けて～

ペット<sup>※1</sup>を室内で飼われる方も珍しくありませんが、ペットによる思わぬ火災が発生しています。また、ペットを飼っていない家庭でも、ネズミや鳥などの小動物<sup>※2</sup>やゴキブリなどの害虫<sup>※3</sup>（以下、小動物や害虫という）が引き起こす事故も発生しており、注意が必要です。

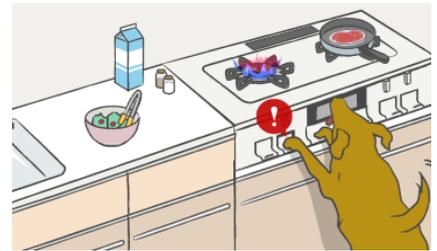
NITE（ナイト）が収集した、平成24年度から平成28年度の製品事故情報のうち、ペット及び小動物や害虫による事故<sup>※4</sup>は78件（ペットの事故26件、小動物や害虫の事故52件）となっており、そのうち約72%、56件が火災に至っています。

ペットが引き起こした事故の中には、犬や猫がガスこんろやIH調理器などのスイッチを入れて火災に至った事例もあります。ペットが跳び乗ったり、押し下りしてもスイッチが入らないよう、機器にロックを掛け、出掛ける際はペットをケージに入れておく、ガスの元栓を閉める、電気製品はプラグを抜く、近くに可燃物を置かないなどの対策をしましょう。また、小動物や害虫がエアコンやガスふろがまなどの製品内部に侵入し、基板に接触してショートしたり、内部配線をかじってショートさせるなどの事故を引き起こしています。製品の外観からは分かりにくいので、点火しにくいなどの動作不良が生じた際は、必ず点検を受けてください。

ペット及び小動物や害虫による事故はそれぞれ発生しやすい場所や製品に特徴があるので、それを把握し対策することで事故を未然に防ぎましょう。

### ■ 事件事例

- 飼い主が不在時に、室内で飼っていた猫がガスこんろのスイッチに触れ、こんろが点火し、製品及び周辺を焼損した。（平成28年4月、埼玉県）
- 室内で飼っていた猫がファクシミリに尿を掛けたため、内部の電気部品でトラッキングが発生し、製品及び周辺を焼損した。（平成28年4月、千葉県）
- ネズミが冷蔵庫の電源コードをかじり、断線させたことでショートし、火災が発生した。（平成28年7月、徳島県）
- エアコンの中に侵入したゴキブリが内部の電気部品に接触してトラッキングを起こし、火災が発生した。使用者はやけどを負って重傷。（平成25年3月、神奈川県）



画像提供 株式会社パロマ  
「製品に関する大切なお知らせ」より

### ■ ペット及び小動物や害虫による事故を防ぐために

- 出掛ける際はペットをケージに入れておく、スイッチが入らないようロックを掛ける、ガスの元栓を閉める、電気製品はプラグを抜くなどの対策をする。
- ガスこんろやIH調理器などの周囲に可燃物を放置しない。
- バッテリーパックなど、ペットがかんだり、落としたりして危険なものは保管場所に注意する。
- 小動物や害虫の侵入する可能性がある製品の周りはこまめに清掃し、動作不良や焦げ臭いなどの異常がみられた際は点検を受ける。

（※1） ペットは飼育されている犬、猫、うさぎ、カメ、鳥、魚などを指す。

（※2） 小動物はネズミや鳥、ヤモリなどの飼育されていない動物を指す。

（※3） 害虫はゴキブリ、クモ、ナメクジなどを指し、いわゆる不快害虫も含める。

（※4） ペット及び小動物や害虫の関与が確認されたものだけでなく、状況証拠から関与が疑われるものも含む。

## 1. 事故の発生状況

NITEが収集した製品事故情報のうち、ペット及び小動物や害虫による事故は、平成24年度から平成28年度の5年間に78件ありました。これら78件の事故について、事故の発生状況を次に示します。

### (1) 年度別 被害状況別 事故件数

図1に「年度別 被害状況別 事故件数 及び 火災事故件数」を示します。

ペット及び小動物や害虫による事故を被害状況別にみると、半数以上が拡大被害（製品及び周囲が被害を受けたもの）となっており、重傷事故も1件発生しています。また、火災に至った事故が多く、78件中56件（72%）が火災事故です。

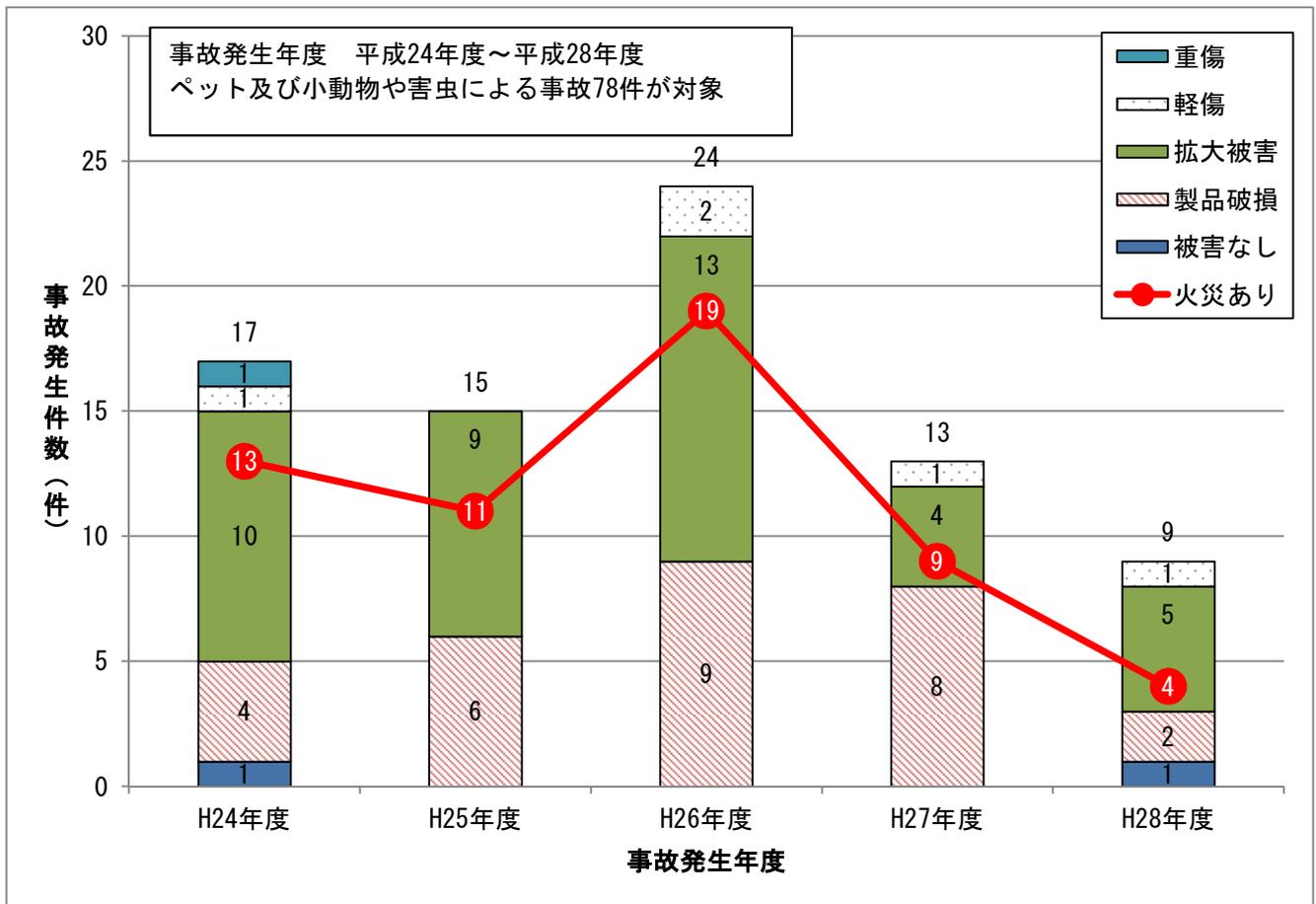


図1 被害状況別 事故件数、火災件数

## (2) ペットによる事故

### (ア) ペットの種類別 製品別 事故発生件数

表1にペットによる事故26件の「種類別 製品別 事故発生件数」を示します。

ペットによる事故はガスこんろが最も多く、犬や猫が点火スイッチに触れ、火災に至ったと考えられる事故が発生しています。その他、空気清浄機や電気ストーブなど床に置かれている製品の電源コードを犬がかんだり、IH調理器やファックス・プリンターなど、高い位置にある製品に猫が跳び乗ってスイッチを入れたり、尿を掛けたりする事故が発生しています。

ガスこんろやIH調理器の事故は、飼い主が調理器の上に可燃物を放置していたことも原因です。万が一スイッチが入ってしまっても大きな事故に至らないよう、ガスこんろやIH調理器の側には可燃物を置かないようにしましょう。

表1 ペットの種類別 製品別 事故発生件数

動物の種類 製品別		ペット			合計
		犬	猫	鳥	
燃焼機器	ガスこんろ	1	5		6
	ガスストーブ	1			1
電気製品	電気ストーブ	2			2
	IH調理器		2		2
	電気こんろ		1		1
	ファックス・プリンター等		5		5
	リチウムイオンバッテリー内蔵無線ルーター	2			2
	延長コード・テーブルタップ		3		3
	空気清浄機	2			2
	掃除機	1			1
	ペット用ヒーター（電球型）			1	1
合計		9	16	1	26

## (イ) 事象別 被害状況

表2にペットによる事故26件の「事象別 被害状況」を示します。

ペットによる事故で特徴的なものは、ペットが製品を作動させたために火災に至ったものです。これは火災現場の状況証拠から推察されたものですが、ペットがこういった事象を引き起こす可能性は十分に考えられます。また、電気製品の電源コードをかじったり、尿や唾液を付着させてしまうことで発火する事故も発生しています。使用していない間は製品に防水性のカバーをする、電源プラグを抜くなどの対策をしてください。

表2 事象別 被害状況<sup>※5</sup> (ペットによる事故)

被害状況		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
ペットによる事故	ペットが製品の電源を入れたために火災			1 (1) [1]	8 [7]			9 (1) [8]
	ペットの尿等で電子基板がショートしたり、コンセント等でトラッキングが発生したりして発火				7 [7]	2		9 (0) [7]
	ペットが電源コードをかじったことにより、ショートして発火				5 [4]			5 (0) [4]
	ペットがバッテリーをかんだため、ショートして発熱・発火				2			2 (0) [0]
	ペットが可燃物をストーブに近づけたことによる火災				1 [1]			1 (0) [1]
	合計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	0 (0) [0]	1 (1) [1]	23 (0) [19]	2 (0) [0]	0 (0) [0]

(※5) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。以降の表でも同様。

### (3) 小動物や害虫による事故

#### (ア) 小動物や害虫の種類別 製品別 事故発生件数

表3に小動物と害虫による事故52件の「種類別 製品別 事故発生件数」を示します。

小動物による事故は電気冷蔵庫及びエアコンに多く、特に電気冷蔵庫はネズミによる事故が認められます。エアコンは多種類の小動物により事故が起きています。ガス接続具はネズミに多く確認された事故で、ネズミがかじったことによりガスホースなどに穴が開き、漏れたガスに燃焼機器の火が引火したものです。

害虫による事故は製品の一部が屋外に設置されているもので多く発生しており、主にガスふろがまやエアコンで事故が発生しています。製品の周りに害虫の集まりやすい場所を作らないようにしましょう。屋内の製品でも事故は発生しており、害虫を見かけたら速やかに駆除してください。

表3 小動物と害虫の種類別<sup>※6</sup> 製品別 事故発生件数

動物の種類 製品別		小動物					害虫				合計
		ネズミ	鳥	ヤモリ	コウモリ	その他	ゴキブリ	クモ	ナメクジ	その他虫	
燃焼機器	ガス接続具	3								1	4
	ガスふろがま ガス瞬間湯沸器		1					4		4	9
	石油ストーブ		1								1
	ガストーチ							1			1
電気製品	キッチン周り	ガスこんろ	1								1
		IH調理器	1					3		1	5
		電気炊飯器						1			1
		電子レンジ						2			2
		オーブン トースター						1			1
		電気食洗機	1								1
		電気冷蔵庫	5				1				6
	エアコン	1	1	2	1	1	3		1	1	11
	リモコン (ガス給湯付ふろがま用) 延長コード・テーブルタップ									1	1
	照明器具					1		1			2
	太陽光発電器	2	1	1		1					5
合計	14	4	3	1	4	10	7	1	8	52	

(※6) その他は製品の状況から小動物によるものと推定されるが小動物の種類を特定できなかったもの。その他虫は複数種類の虫が混じていたものや虫の種類が特定できなかったもの

## (イ) 事象別 被害状況

表4に小動物や害虫による事故52件の「事象別 被害状況」を示します。

小動物による事故は電気部品に関する事故が19件と多く、小動物がかじる、接触することによって起きているものや、小動物の残した尿やふんで発生する事故があります。

害虫による事故は害虫が製品内部へ侵入し基板などに接触し、ショートした事故が多くみられます。まずは害虫を寄せ付けない対策が必要です。

表4 事象別 被害状況 (小動物や害虫による事故)

事象別	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
小動物による事故	小動物が電源コードや内部配線をかじったことによりショートして発火				7 [ 7 ]	4 [ 3 ]		11 ( 0 ) [ 10 ]
	小動物が電気製品内部に侵入し、基板に接触してトラッキングやショート				1 [ 1 ]	3 [ 3 ]		4 ( 0 ) [ 4 ]
	小動物の尿等で電子基板がショートしたり、コンセント等でトラッキングが発生したりして発火					4 [ 4 ]		4 ( 0 ) [ 4 ]
	小動物がガスホースをかじってガスが漏れて引火				3 [ 2 ]			3 ( 0 ) [ 2 ]
	鳥の巣により排気部（エアコンの排気ダクト、燃焼機器の排気筒）が閉塞			1 ( 2 )	1 [ 1 ]	1 [ 1 ]		3 ( 2 ) [ 2 ]
	ガスこんろや給湯機など燃焼器具の内部に小動物が侵入して異常燃焼				1			1 ( 0 ) [ 0 ]
害虫による事故	害虫が製品内部に侵入し、基板に接触してトラッキングやショート		1 ( 1 ) [ 1 ]	1 ( 1 ) [ 1 ]	2 [ 2 ]	10 [ 6 ]	1	15 ( 2 ) [ 10 ]
	ガスこんろや給湯機など燃焼器具の内部に害虫が侵入して異常燃焼			2 ( 2 ) [ 1 ]	2 [ 1 ]	5 [ 1 ]	1 [ 1 ]	10 ( 2 ) [ 4 ]
	製品内部に入り込んだ害虫によって製品が誤作動				1			1 ( 0 ) [ 0 ]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	0 ( 0 ) [ 0 ]	1 ( 1 ) [ 1 ]	4 ( 5 ) [ 2 ]	18 ( 0 ) [ 14 ]	27 ( 0 ) [ 18 ]	2 ( 0 ) [ 1 ]	52 ( 6 ) [ 36 ]

## 2. ペット及び小動物や害虫による事故事例と気を付けるポイント

### ○ ペットによる事故

#### ① 飼い主の不在時に猫がこんろのスイッチを入れた

平成 28 年 4 月 12 日（埼玉県、年齢性別不明、拡大被害）

##### 【事故の内容】

飼い主が外出中、ガスこんろの周辺が焼損した。

##### 【事故の原因】

室内で飼っていた猫が点火ボタンに触れ、ガスこんろを点火した可能性が考えられる。猫は以前から室内の高い位置に登っていた。

#### ② 猫がファクシミリに尿を掛け発火

平成 28 年 4 月 24 日（千葉県、年齢性別不明、拡大被害）

##### 【事故の内容】

飼い主が就寝中、ファクシミリと周辺を焼損する火災が発生した。

##### 【事故の原因】

家では複数匹の猫が飼育されており、猫がファクシミリに尿を掛けたことにより内部の電気部品でトラッキングが発生し、発火したものと考えられる。



#### ③ 犬がバッテリーをかみ発火

平成 25 年 12 月 6 日（香川県、50 歳代・女性、拡大被害）

##### 【事故の内容】

飼い主が充電後放置していたルーター用のリチウムイオンバッテリーが発火し、製品及び周囲を焼損した。

##### 【事故の原因】

飼い主が製品を放置して外出した際に、室内で飼っている犬が製品にかみつ、製品を変形させたため事故に至ったと考えられる。バッテリーパックには局所的な力が加わったことを示すへこみが認められた。



**ペットによる事故を防ぐためのポイント****1. 出掛ける際はガスの元栓を閉め、電気製品はプラグを抜く**

ペットがガスコンロやIH調理器に寄りかかったり、上に登るなどしてスイッチを入れてしまうことがあります。万が一そのような事態になっても火災につながらないように、ペットを家に残して出掛ける際は、ガスコンロは元栓を閉めるかロックを掛け、電気製品は電源プラグを抜いてください。また、ガスコンロやIH調理器などの周囲に可燃物を放置しないでください。

**2. 危険性のあるものは保管場所に注意する**

ペットは小さなものを口に入れ、かみついてしまうことがあります。スマホやモバイルバッテリーなど、外力が加えられることでショートし、破裂・発火に至る危険がある製品は放置せず、ペットが触れない場所に保管しましょう。

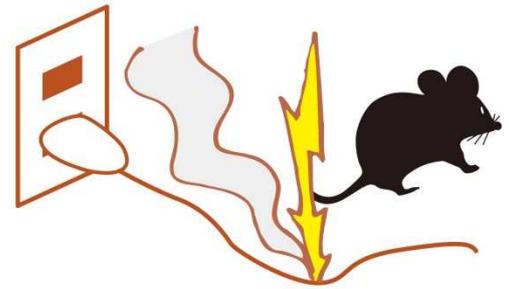
**3. 目を離す際はケージに入れる**

飼い主の目が届かない際に発生する事故が後を絶ちません。出掛ける際は室内で放し飼いせずケージに入れておくなども、大切なペットを火災から守るために有効な対策です。

**4. 社告・リコール製品かどうか確認する**

ペットによる事故事例が報告されているものの中には、社告により無償点検などされている製品もあります。お使いの製品が社告・リコール対象製品かどうか、確認してください。もし、社告・リコール製品の場合は、すぐに使用を中止して、製造事業者などに問い合わせてください。

## ○ 小動物や害虫による事故



### ① ネズミが電源コードをかじり発火

平成 28 年 7 月 1 日（徳島県、80 歳代・男性、拡大被害）

#### 【事故の内容】

冷蔵庫の背面から出火し、製品及び周辺を焼損した。

#### 【事故の原因】

冷蔵庫の電源コードに歯形があり、ネズミが電源コードをかじったために断線し、ショートしたことで火災に至ったと考えられる。

### ② 鳥がストーブの排気口に巣を作り異常燃焼

平成 27 年 11 月 5 日（北海道、50 歳代・女性、拡大被害）

#### 【事故の内容】

使用者が就寝中、石油ストーブと周辺を焼損する火災が発生した。

#### 【事故の原因】

石油ストーブの屋外排気口内に鳥が巣を作っており、排気不良となったため異常燃焼が発生して排気口とストーブが過熱し、火災に至ったものと考えられる。

### ③ エアコンにゴキブリが侵入して火災

平成 25 年 3 月 17 日（神奈川県、年齢性別不明、重傷）

#### 【事故の内容】

エアコンの室内機が焼損する火災が発生し、使用者がやけどを負った。

#### 【事故の原因】

エアコンの内部に複数匹のゴキブリが確認され、電気配線の集中している部分にもゴキブリが確認されたことから、プリント基板のパターン間でトラッキングが生じて火災に至ったものと考えられる。

## 小動物や害虫による事故を防ぐためのポイント

### 1. 屋外の小動物や害虫の侵入する可能性がある製品は定期的に点検する

屋外に機器の一部が設置されているガスふろがまやエアコンなどは、製品の内部に小動物や害虫が侵入する可能性があります。製品の周囲にゴミや段ボールを置いたりせず、こまめに掃除するなど、小動物や害虫を寄せ付けないよう注意してください。

鳥やクモは排気口などに巣を作って閉塞させてしまう可能性があります。排気口などに詰まりなどの異常がないか定期的に点検してください。

### 2. 屋内で見かけたら駆除する

屋内の製品でもキッチンの周囲は餌となるものが多いため、小動物や害虫が侵入することがあります。キッチンの周囲はこまめに清掃し、小動物や害虫を見つけたら速やかに駆除してください。

### 3. 予兆に注意する

小動物や害虫が製品内部に侵入すると、不意に電源が入る、スイッチが効かない、焦げ臭いにおいがするなどの異常が事故の予兆としてみられることがあります。これらの事象がみられたら、直ちに販売店や製造事業者などに点検・修理をお願いしてください。

## お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 新井 勝己  
担当者 穴井、酒井、向井

- 記者説明会当日  
電話 : 03-3481-6566 FAX : 03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降  
電話 : 06-6612-2066 FAX : 06-6612-1617

年度別 事故発生件数

図 2 にペット及び小動物や害虫それぞれの「年度別 事故発生件数」を示します。

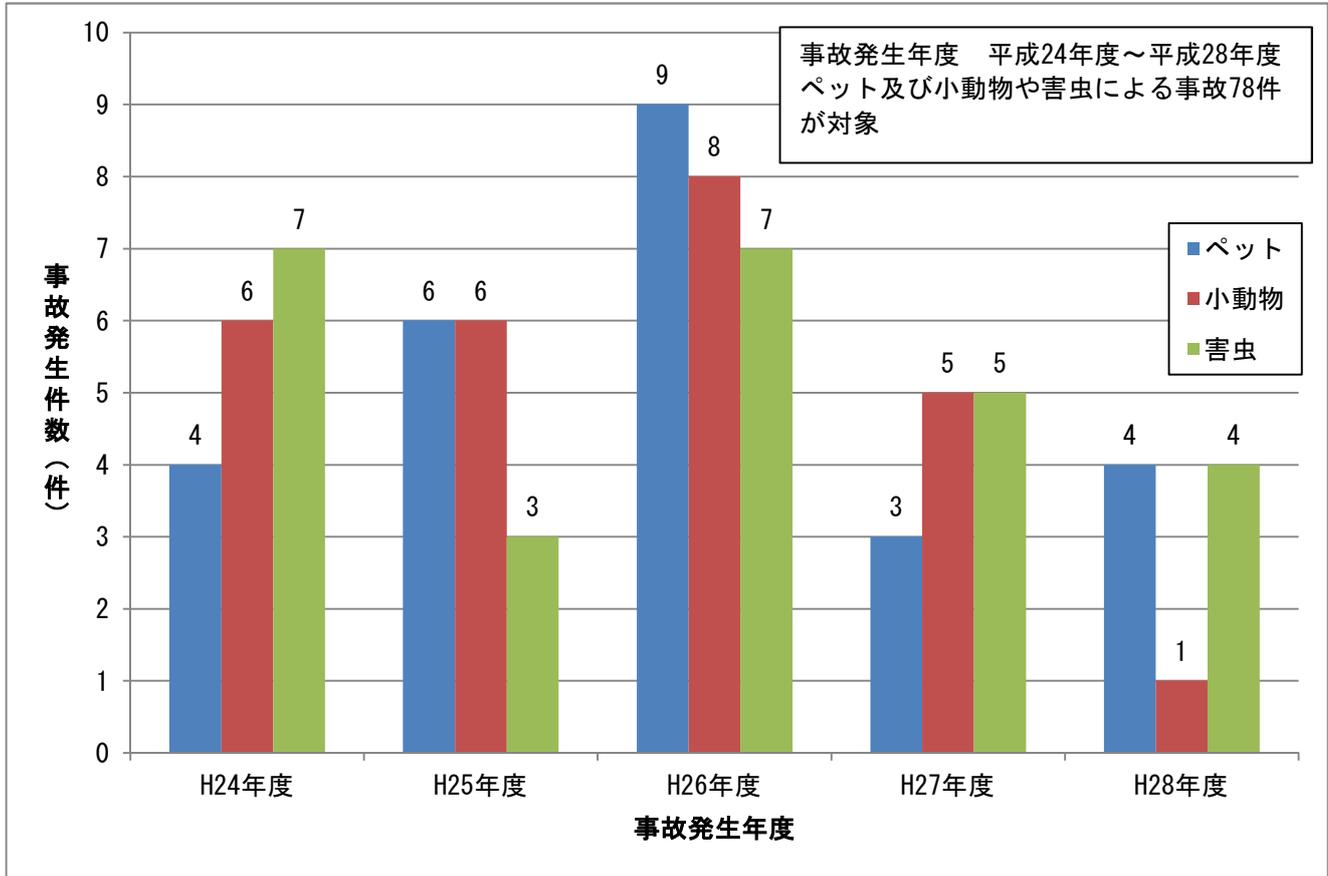


図 2 年度別 事故発生件数

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2013/3/29	家庭用ファックス	ブラザー工業株式会社 (法人番号:8180001010997)	<p>2000年(平成12年)9月から2005年(平成17年)11月まで生産いたしました家庭用ファックスにおいて、猫の尿が繰り返し製品にかかることに起因する焼損事故が発生いたしました。当該製品の構造上、猫が製品に乗って繰り返し排尿することにより、まれに発火に至ることがあることから、お客さまに引き続き安心してご使用いただくため、当該製品の無償点検を実施させていただきます。</p> <p>当該製品をご使用の期間中に、猫と一緒にお住まいのお客さまにおかれましては大変お手数ですが、下記専用窓口までご連絡賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>[製品名及び型式] ○シリーズ名:- 機種名: FAX-770J 対象シリアル番号: 全シリアル番号</p> <p>○シリーズ名:ピュアブルー 機種名: FAX-750/ 750TA/ 750CL/ 750CLY/ 750HS、 FAX-760/ 760CL/ 760CLT/ 760HS/ 760F、 FAX-800CL/ 800CLW/ 800CLN/ 800CLNT/ K80CL/ 800TR 対象シリアル番号: J0XXXXXXXX, K0XXXXXXXX, L0XXXXXXXX, M0XXXXXXXX, X1XXXXXXXX, X2XXXXXXXX, X3XXXXXXXX, X4XXXXXXXX, X5XXXXXXXX</p> <p>○シリーズ名:Commuche(コムシエ) 機種名: FAX-306VCL/ 306VCLW、 FAX-720CL/ 720CLW/ 720TA/ 720CL BI BI、FAX-730CL/ 730CLW/ 730TA、 FAX-780CL/ 780CLW/ 780TA/ 780TAF/ K78CL、 FAX-790CL/ 790CLW/ 790TA/ 790CL BI BI、 FAX-K79CL/ K79CLW/ KJ7CL、 FAX-900CL、 FAX-910CL/ 910CLW、 FAX-920CL/ 920CLW、 FAX-1000CL/ 1000VCL/ 1000VCLW、 FAX-1100CL/ 1100CLW、 FAX-2000CL/ V6CL/ V6CLW/ 30CL、 FAX-2100CL/ 2100CLW 対象シリアル番号: 全シリアル番号</p> <p>機種名: FAX-300CL/300CLW/300TA、 FAX-350CL/350CLW 対象シリアル番号: A5XXXXXXXX B5XXXXXXXX C5XXXXXXXX D5XXXXXXXX E5XXXXXXXX F5XXXXXXXX G5XXXXXXXX H5XXXXXXXX J5XXXXXXXX K5XXXXXXXX L5XXXXXXXX</p> <p>※ 上記「対象シリアル番号」欄の「X」は任意の英数字を表しています。</p> <p>[問い合わせ先等] お客さまお問い合わせ先(ブラザーコールセンター) 専用フリーダイヤル :0120-005-320(無料) 専用ファクス: 052-819-5540 受付時間: 月曜～土曜 : 9:00～18:00 休業日: 日曜日・祝日・当社指定休日 ファクスは24時間受付けておりますが、上記受付時間外のお問い合わせに關しての回答は翌営業日となります。 <a href="http://support.brother.co.jp/j/s/support/information/info_fax/index.html">http://support.brother.co.jp/j/s/support/information/info_fax/index.html</a></p>